

## 夏休み明けの生徒講話

みなさん こんにちは

今日から、また学校が始まりました。今年の夏はとても暑かったですね。体調はどうでしたか。熱中症などで体調を崩す人はいなかったでしょうか。大丈夫ですか。

さて、夏休みの前に、話をしたことを振り返ってみたいと思います。「考えかたを変えてみて、感謝、感動、感激の3K」でした。ものの見方を変える、そして感謝の気持ちを持てば良いということです。なかなかできることではないと思いますが、一つひとつの経験が成長につながると思っています。

今日、お話しするテーマは、成長するための節目ということです。

私が今年の夏で印象に残ったことを話したいと思います。それは、高校野球100年、戦後70年、日航機墜落事故30年というように、毎年何かの区切りがあるのですが、今年は特に印象に残る区切りが多くあった年かと感じました。

とくに戦後70年でした。毎年、この時期には私も戦争などの出来事を振り返ってみることをしているのですが、今年は政治のこともあったり、ちょうど節目でもあって、テレビや新聞などで多く見ることがあったと思っています。みなさんも、関心もあったのではないのでしょうか。

自分たちは未来に向かって生きていますので、こうして何年目かで振り返ることで、自分の今後に生かすことができると思います。皆さん全員が、20歳とか節目の年齢ではないと思いますが、高校1年の夏、高校2年の夏・・・というように、きっと振り返ってみると思い出す節目になっていると思います。こうした節目、節目を経て未来へ進む。今日からの夏休み明けからの日々を大切に過ごして欲しいと思います。

秋には文化祭もあります。遠足や修学旅行、就職試験の人もいるでしょう。大学を受ける人もいると聞いています。人それぞれにいろいろな出来事があるのが、学校生活で実りの秋であり、成長を確認できる時でもあります。

成長には節目が大切です。皆さんは気がついていなくても、この夏という節目で経験をし、そしてこれからの成長につながっていくことでしょう。私たちの周囲にある竹という植物はとても大きく、早く空へと向かって伸びていきます。竹には節があるから、早くそして高く成長していくと言われていました。若い皆さんも竹のように、節目をつけながら、これから伸びていく秋を過ごしてくれることを期待しています。